

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

グループホーム市川 一番町

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	グループホーム独自の理念を朝礼で毎日唱和し、全員で共有出来ている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	運営推進会議に参加して頂き地域の方々との交流がある。施設周辺のゴミ拾いを行っている。	公民館で開催される地区の敬老会に行っているところもある為出かけてみてはどうか。敬老会参加者が減っていたり、民生委員さんが寝れてしまっているケースもある。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	施設見学はいつでも対応し、入居者のプライバシーに配慮しながら、認知症の方々の暮らしを紹介している。	避難訓練報告をした際ご家族様から、どのように行動したら良いか見える化してはどうかとアドバイスを頂いた。マニュアル作成の参考にしていく方向である。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	随時質問、相談などを行い連携している。	介護保険課の問い合わせは、質問票での質問となる。担当が入所・通所に分かれているが随時対応できる体制を取っている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	身体拘束についての勉強会を行い、スタッフ全員に周知している。身体拘束に繋がらないようケアの工夫をしている。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃がされないよう注意を払い、防止に努めている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	虐待防止についての勉強会を行い、テスト等で理解度を確認したり、チェックリストを使用し、不適切ケアがないか確認し、話し合いの機会を設けている。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	勉強会を定期的に行い、日常生活自立支援事業、成年後見制度について学び必要に応じて家族利用者に情報提供している。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	契約時には利用約款・重要事項説明書を用いて十分な説明を行い、疑問や質問には、その都度対応している。また、利用料金等の契約改定時にも十分に説明し同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	運営推進会議にはご家族様、近隣の方に参加して頂き、要望や助言を伺い、改善に努めている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	意見箱の設置や満足度調査を行い意見を反映している。また家族来所時は生活の様子を報告し、思いや意見を引き出すようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	年2回の健康診断の実施、休みも希望や体調に配慮し、出来る限りの調整を行っている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	年間計画を作成し研修機会を設けている。内部での勉強機会はあるが、外部への研修参加が出来ていない事が多い。研修参加時は遠慮講習ができるよう調整している。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	グループホーム協議会に参加し交流を深めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	本人の生活歴や情報を集め得意な事ややりたい事を発揮できるよう努めている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	はがき、手紙などの支援や電話の支援を行い、面会等すすめ関係継続に努めている。できるだけ外出機会を増やすよう努めている。	現在の面会状況について、現在は午前・午後で時間を決め面会して頂いている。面会室の使用はコロナ5類以降あまり利用できていない。インフルエンザが流行しているので気を付けて欲しい。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人望みや想いを話をしながら確認している。意向確認が難しい場合は家族から情報収集を行っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画は本人の希望、個人の能力、家族の意向、多職種からのアドバイスなど踏まえ、職員間で話し合い作成している。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状態の変化や気づき等介護記録に記入し、観察事項などは情報共有をし、介護計画の見直しをしている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている ⑤. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療連携や生活機能連携を行い、入居者様の心身の状態維持に努めている。	八戸市では共用デイを3ヶ所行っている。デイサービス利用から長期入所に繋がるケースもある。90～100%の稼働状況。その為にスタッフの増員が必要となってくる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	母体施設でのイベントや、ボランティア訪問等を通し、出来る範囲で本人の能力を発揮してもらっている。	地区のお祭りでお店を出したり、そこに利用者様を連れて行っているところもあるので検討してみたらどうか。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ⑤. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人家族の意向に合わせ受診先を決めている。心身の状態変化が見られた際は医療機関に手紙で相談している。急な受診対応となる事が多く家族に負担をかけているケースがある。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先の看護師、相談員に連絡を取り状況確認を行っている。書面にて本人の状況が分かるように書類作成に努めているが、積極的な関係作りは行っていない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に看取りに関して説明をし、現在の家族の意向を書面にて確認している。又、ADLの低下や、一般状態の変化時は家族に相談の機会を頂いている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普通救命講習会等に参加し勉強している。急変時にはマニュアルに基づいて対応している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害時に備え、定期的に避難訓練を実施している。又、食料、水を常備している。訓練を行いながら、再確認を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者が一人の人間として尊厳を保ち、安心して生活できるよう心掛け介助している。又、個人情報の取り扱いには細心の注意を払っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人自由に過ごしたい場所で過ごして頂いている。危険がないよう見守りや声掛けを行っている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年末年始やお盆等には行事食を提供している。又、旬の食材を取り入れた料理を提供し、香り、味、食感を楽しんでもらっている。定期的におやつ作りも行っている。食後は皆で食器拭き等後片付けに協力してもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の食事、水分摂取量を把握しながら必要に応じ医師、看護師へ相談をしている。食事が少ない時は高カロリーゼリー等すすめている。食事前は嚥下体操を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者が自身で整容動作が行えるよう状態に合わせ声掛けの仕方を工夫している。困難な場合はこちらで介助し口腔内の清潔に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフが排泄パターンの把握ができるようチェック表を使用している。本人の訴えのほかに、トイレの促し、不十分な所の介助等を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時間や順番等希望を聞きながら入浴して頂いている。拒否が強い時は時間をおき再度声掛けし入浴をすすめている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の状態に応じ休息できるよう就寝環境の整備、日中の過ごし方や適度な運動、声掛け等行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方薬をカルテに綴じ内容を把握できるようにしている。内服変更時には介護記録等に記入している。服用後の本人の状態変化についても観察を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のイベントを企画している。イベントに参加して頂き楽しまれている様子が見られている。天気の良い日はドライブ等の外出機会を設け気分転換を図るよう支援している。			

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節に合わせ外出を企画し支援をしている。また、個人の訴え等に合わせ買い物に行く機会も設けている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要に応じ本人に管理して頂く支援を行っている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訴えが聞かれた時は公衆電話で家族へいつでも電話が掛けられるよう支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関、施設内に季節に合わせた装飾や、写真を掲示している。トイレや居室の場所が分かるよう目印をつけている。		A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が自己決定できるよう支援をしている。意思決定困難な場合でも可能な範囲で本人の意思が反映されるよう支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族等の情報から想いを把握しケアを行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護師、リハビリ職などと連携し、専門的なアドバイスを受けながらケアを行っている。日々一般状態の観察をし、異常の早期発見に努めている。又施設		A. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

				内の危険箇所の修繕、解消に努めている。			
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族から情報収集し、生活歴、趣味嗜好等把握し、生活に生かせる様支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の写真は居室に置かれているが、なじみのもの等は身近に置くことが出来ていない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の体調、意向確認しドライブ、散歩等行っている。他施設の行事に参加したりしている。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録、日々の様子、心身の状況などからアセスメントし、本人にあった役割、楽しみの提供を行っている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者と会話の機会を持ち、不安や要望等伺っている。本人の能力、好む作業、出来そうなことを提案し、一緒に無理のない範囲で行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ以降外出機会は以前に比べ減っている。外出機会や、清掃ボランティアで来所された方々など交流する事は出来ていた。	近くにお店等があれば良いが、車通りも多いので難しいのかもしれない。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族との面会、外出機会があったり、普段の生活の中でスタッフとの会話や作業、余暇活動機会はあがるが、地域交流や、定期的な外出機会が少ない。気分転換や地域と関わる機会を設けていく必要がある		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

グループホーム市川 二番町

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日期礼時唱和し実践できるよう意識づけをしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方に運営推進会議に参加を依頼し施設の状況を報告している。ときどき利用者と一緒に施設周辺のごみ拾いをしたり、ボランティアの方と一緒に施設内の掃除をしたりしている。	公民館で開催される地区の敬老会に行っているとある為出かけてみてはどうか。敬老会参加者が減っていたり、民生委員さんが歳れてしまっているケースもある。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議時に施設の状況を報告し参加者から意見を聞きそれを踏まえてサービス内容の検討し必要時変更をしている。(避難訓練時のマニュアル等)	避難訓練報告をした際ご家族様から、どのように行動したら良いか見える化してはどうかとアドバイスを頂いた。マニュアル作成の参考にしていく方向である。		
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要時には電話やメール、窓口等で相談しアドバイスをしてもらっている。	介護保険課の問い合わせは、質問票での質問となる。担当が入所・通所に分かれているが随時対応できる体制を取っている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日、身体拘束禁止対象チェック表を用いて確認しながら介護をしている。定期的に母体施設や施設内で勉強会をおこない学習している。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃がされないことがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の対応やことばづかいが虐待に該当しないか接遇チェック表等で確認しながら介護をしている。また定期的に勉強会に参加し学習している。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度の研修に参加し、研修内容を他職員に伝達練習し活用できるように努めている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時や料金改定時には家族へ説明し同意してもらっている。退居後も必要時相談に応じることを家族へ伝えている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時や電話等で家族と話した際に意見をきいている。玄関に意見箱の設置と年1回利用者と家族に満足度調査を行い反映できるようにしている。		A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スタッフ会議等で意見を聞いたり、随時話を聞き対応している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の健康診断を実施と必要時には職員に受診を勧めている。個々の事情に合わせ可能な限り勤務調整をおこなっている。		A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓐ. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員に年間の個人目標をたててもらい仕事をしてもらっている。研修参加後は報告書作成し伝達講習をおこなってもらっているが、あまり参加できていない。		A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓐ. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地区のグループホーム協議会に参加したり、系列のグループホーム職員と話したりし同業者との交流、連携を図っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望を聞きながら、できそうなことをおこなってもらっている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族、知人の方の面会や外出希望、遠方の家族から電話があったときは援助している。	現在の面会状況について、現在は午前・午後で時間を決め面会して頂いている。面会室の使用はコロナ5類以降あまり利用できていない。インフルエンザが流行しているので気を付けて欲しい。		

Ⅱ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全話できる利用者からは本人より思いや意向を聞いている。聞くことが困難な利用者へは普段の様子や生活歴、家族等から情報を得て把握するようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族、リハビリ担当等の意見を踏まえながら職員と話しあい作成している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気をつけなければならない事項や気になった行動等は介護記録や申し送りノートに記入して情報共有し介護計画の見直しをしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護ステーションと医療連携体制を整えており24時間体制で対応してもらっている。また生活機能向上のためリハビリ職の方に訪問してもらい心身の状況を評価してもらい援助に生かしている。	八戸市では共用デイを3ヶ所行っている。デイサービス利用から長期入所に繋がるケースもある。80～100%の稼働状況。その為にスタッフの増員が必要となってくる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ときどき地域の公園に出かけたりしているが地域資源をあまり活用できていない。	地区のお祭りでお店を出したり、そこに利用者様を連れて行っているところもあるので検討してみたらどうか。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人家族と相談しながら受診先を決めている。必要時には眼科等の受診の相談や受診支援をおこなっている。家族が受診介助する際には状態を書面や電話にて病院に報告している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先の相談員や看護師等と連絡をとり状況確認し治療後安心して退院できるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先はどこになるのか。 一敷急だと市長病院に搬送されることが多い。かかりつけに行くとそのまま入院するケースが多い。 看取り対応も行っている。 他の GH では看取りを行っているのか →看取りとなると吸引が必要なり、介護職が喀痰吸引の資格を持っている施設は少ない。往診や医

							搬送機が取れている所は看取りを行えるようだが、医師の理解も必要となってくる。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に看取りに関する説明をおこなうアンケートに記入してもらい、本人・家族からの意向をきいている。看取り対応になったときは医師や看護師からアドバイスをもらいながらおこなっているが十分ではない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルを整備しそれに基づいて行動している。施設内に AED を設置しておりほとんどの職員は普通救命講習を受講し使用方法を学んでいる。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災、地震、水害等の避難訓練を運営推進会議時に報告しアドバイスをもらっている。災害時に備えて食料や飲料水を準備し管理をしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者ひとりひとりの人格を尊重しながら声かけや介助をしている。職員へは個人情報取扱いやカルテの管理に注意するように説明している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何かおこなう際は本人や家族の希望、心身の状況を踏まえ本人のペースにあわせて対応している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の希望を取り入れながら季節にあわせた食事を提供したり、ときどきおやつと一緒に作ったりしている。毎食後には利用者に後片付けを手伝ってもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日の水分と食事摂取量を記入し必要量摂取できるようにしている。利用者の摂取状況に応じて食事形態を変更したり、声がけをしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の状況にあわせて毎食後声がけをし、必要時介助をしている。やりたがらない利用者へは少し時間を置いてから再度声がけしおこなってもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を使用し利用者ごとの排泄パターンを把握している。それにあわせて必要な利用者へ声がけや介助をおこなっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の希望や心身の状況にあわせながらひとりずつ入浴している。拒否のある利用者へは時間を置いて何回か声がけし入浴している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の生活リズムにあわせて休息や就寝の介助をしている。不眠がちな利用者へはなるべく日中の活動を多くしてもらうように支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方されている薬の内容をカルテに綴じ内容を把握できるようにしている。薬の変更等気をつけなければならないことは介護記録等に記入し情報共有している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の希望やできることにあわせて掃除や食器拭き、洗濯物たたみなどのお手伝いをしてもらい、それが役割だと感じている利用者もいる。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ときどき希望にあわせて職員とドライブに行ったり家族と一緒に出かける利用者もいる。			

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の希望に合わせて少額の金額を所持している利用者がいる。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	公衆電話を設置している。ひとりできない方へは介助をしている。また、家族等から手紙やはがきが届いたときは必要時介助をしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関、施設内は季節や時期にあわせた装飾をし、利用者が通る場所に行事の写真を飾っている。室内は温度、湿度、日差しの状態にあわせて快適に過ごせるようその都度、調節をしている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意向が把握できる方はなるべくそれに合わせた暮らしをしてもらっている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴、習慣、好きなこと等に基づいて支援をおこなっている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護師やリハビリ職等と連携し専門的なアドバイスを受けながらケアをおこなっている。		A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべく個々に合わせた時間の使い方をするようにしている。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の写真や以前から使用している物等を居室に置いている利用者がいるが全員ではない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員とときどきドライブに行ったり、家族と外出したりしているが機会はあまり多くない。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に合った軽作業やお手伝い等をおこなっているが全員まではできていない。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者同士で話をするのが少ないため職員から声がけすると活動できている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	交流が多くないため少しずつ増やす機会をつくっていききたい。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員とはいろいろな関わりができているが、地域等、外部との関わりがまだ少ない状況である。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

(参考様式4)

事業所名 グループホーム市川
作成日: 令和 8年 3月 25日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	24	職員にマニュアル確認や勉強会に参加してもらっているが、実際利用者の急変や事故発生時にうまく実践できないことが多い。	利用者の急変や事故発生時、適切な対応ができる。	令和8年4月～11月 朝礼後(週1回位)や毎月のスタッフ会議時等職員が集まった際に緊急時や事故発生時のマニュアル確認や対応を継続的に勉強する。 令和8年12月～令和9年3月 職員の理解度を確 認し、理解度が低い内容を中心に勉強する。	12ヶ月
2	25	避難訓練等は定期的におこなっているが、時間が経つと忘れてしまい、実際災害が発生した際うまく動けないのではないかとこの意見があった。	災害時、利用者を安全に避難誘導できる。	令和8年4月～11月 朝礼後(週1回位)や毎月のスタッフ会議時等職員が集まった際に災害時のマニュアル確認や動き方を継続的に勉強する。 令和8年12月～令和9年3月 職員の理解度を確 認し、理解度が低い内容を中心に勉強する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。